

研究番号：自 019-0213

北海道大学病院に入院中（または過去に入院されたことのある）の患者さん
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] リネゾリド投与患者における嘔吐発現の危険因子の同定

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 菅原 満（薬学研究院教授／薬剤部長）

[研究の目的]

リネゾリド（LZD）はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）などによる感染症に用いられる抗菌薬です。

我々は過去の研究において、これまで注目されてこなかった LZD の投与と嘔吐発現の間に因果関係がある可能性を見出しました。しかしながら、LZD 投与による嘔吐発現の危険因子の同定には至っていません。例えば、併用薬や腎臓の機能、体格（体重）が LZD 投与による嘔吐発現に寄与することを解明できれば、その予防や治療方法を考案するうえで有益な情報となります。

そこで本研究では、リネゾリド投与による嘔吐の発現要因を調査し、その危険因子を同定することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2008 年 11 月から 2019 年 3 月に北海道大学病院入院中に LZD が投与された 18 歳以上の方を対象とします。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病歴、診断名、治療歴、入院病棟、入院診療科、併用薬、血液学的検査（血清クレアチニン値、白血球数、赤血球数、血小板数、ヘモグロビン値）、手術日、術式、嘔吐発現日、LZD 投与経路（内服または注射）、投与量、投与期間など

[研究実施期間] 実施許可日～2022年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせするこ

とができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 薬剤部 堤 竹蔵

電話 011-706-7722 FAX 011-706-7616